

何かと出会って 新たな発見

暮らしほっとワーク

—バリアフリーへのかけ橋—



〈特集〉

「なごや福祉用具プラザ」の
ご案内

なごや福祉用具プラザオープンにあたって
各フロアのご案内
なごや福祉用具プラザ事業のご案内

創刊号

JULY 1997



なごや福祉用具プラザ

なごや福祉用具プラザ オープンにあたって

ごあいさつ

名古屋市長 松原 武久

名古屋市では、確実に進行する高齢社会において、福祉用具が高齢者や障害者の方々の自立と、豊かな生活を援助するものという認識に基づいて、平成4年度から福祉用具の普及等に関する調査・検討を開始し、平成6年の「障害者福祉新長期計画」において「福祉機器センターの整備」を新規事業として掲げ、整備に取り組んでまいりました。

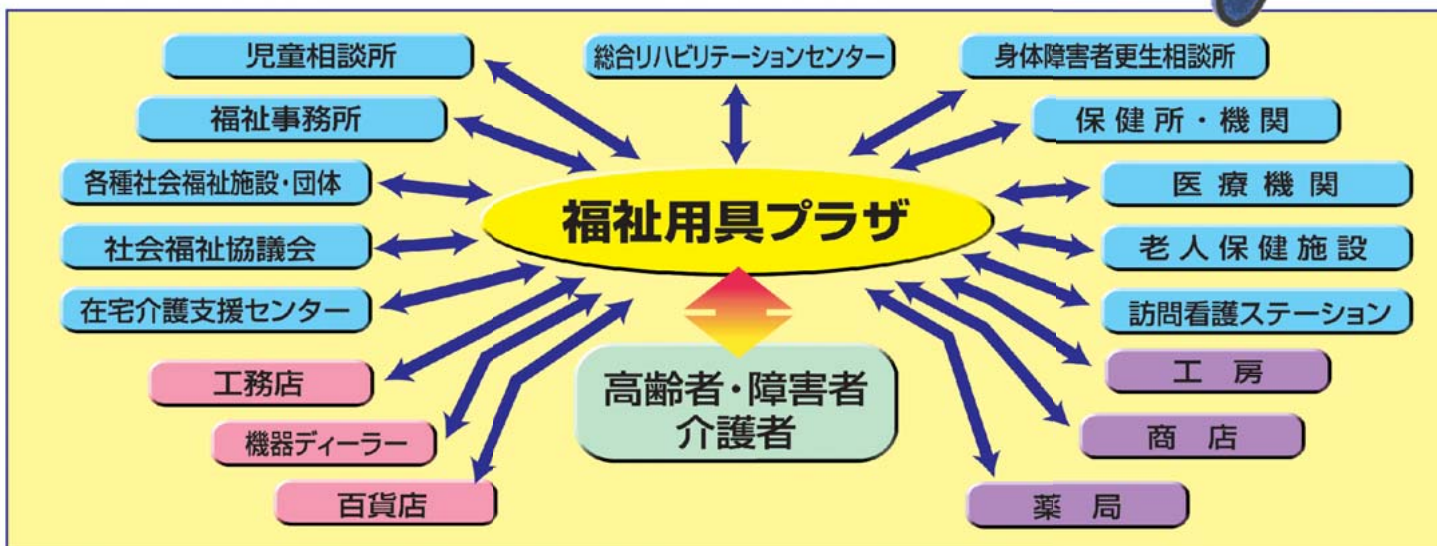
福祉用具は障害者や身体機能が低下された高齢者の方々の、生活を援助し、介護する方の負担を軽減する有力な手段として、現在その有効性に期待が寄せられているところですが、なごや福祉用具プラザでは、福祉用具に関する相談のみならず、介護に関する知識や技術を学んでいただくため、介護実習や研修などの事業も行います。

なごや福祉用具プラザは、今後本市の高齢者、障害者の在宅福祉等を進めていく上での一つの拠点として、皆様のご期待に添えるよう努力してまいりますので、ご指導ご援助とともに、ご活用を賜りますようお願い申し上げます。

新たな発見



なごや福祉用具プラザはどのように考えます





ごあいさつ

社会福祉法人 名古屋市総
合リハビリテーション事業
団理事長（名古屋市助役）

竹内 正

今日、急速な高齢者社会を迎え、街づくり・交通アクセス・住環境・生活用具など様々な分野において、バリアフリーの推進が、ますます求められています。

なごや福祉用具プラザは、お年寄りや身体に障害をお持ちの方々の自立を支援し、介護者の負担を軽減するため、福祉用具や介護知識、介護技術を普及することを目的として設置されました。

利用される方の様々なニーズに応えられるよう、リハビリテーションの専門スタッフを配置し、最善の努力をしております。

また、多くの市民の皆様にご利用され交流できる開かれたプラザとなるよう、より適切なサービスの提供に努めてまいります。

開設にあたり、格別のご協力をいただきました関係者の皆様にご心からのお礼を申し上げますとともに、今後とも、皆様方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

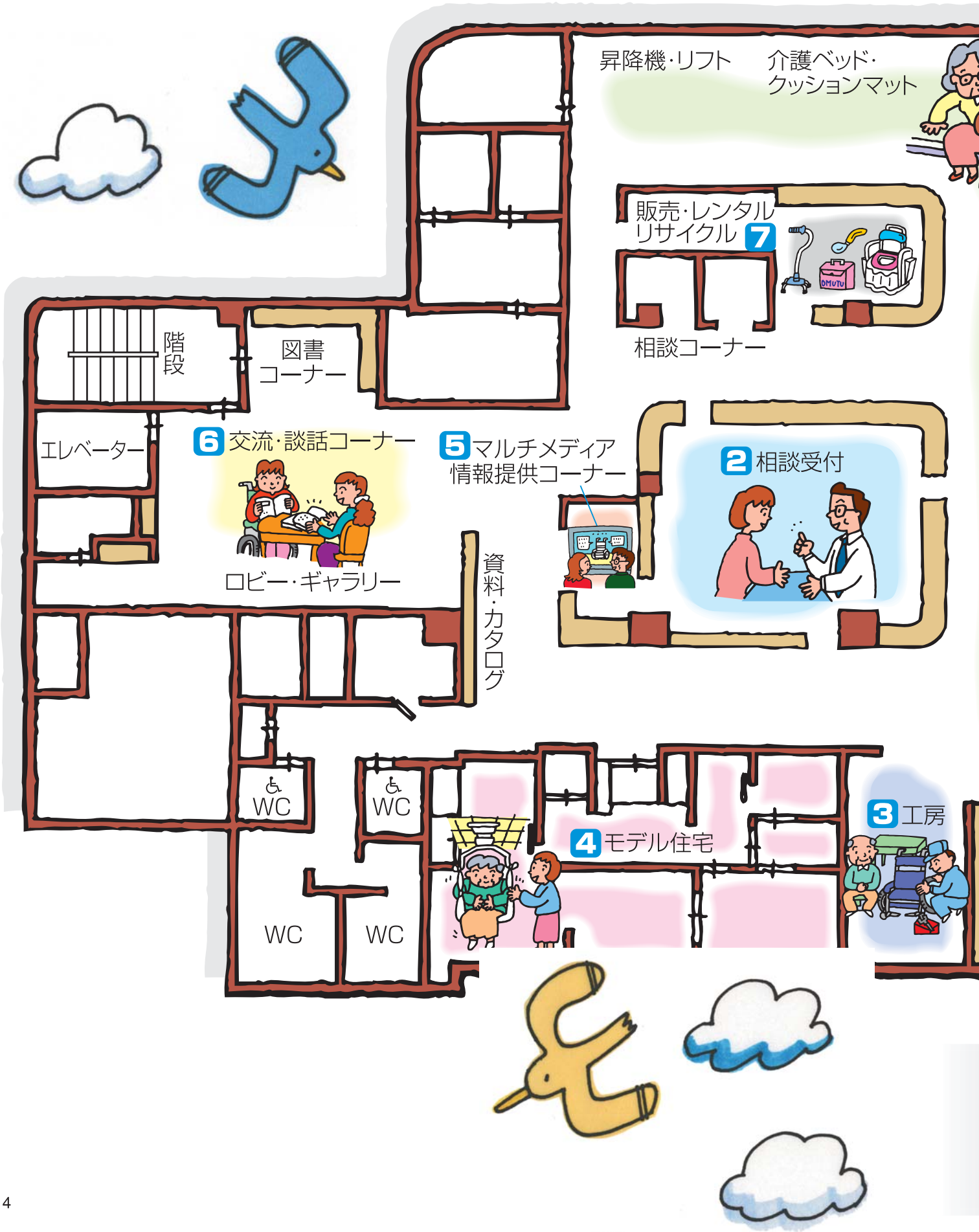
人が人として誕生した以上、社会的な人間としてしか生きていけません。身体に障害をもったとしても、高齢者になったとしても、人は豊かな生活をおくりたいし、家庭や社会の中で人の役に立ったり、いつまでも自立的な生活をおくりたいものです。そのような暮らしのあり方を阻害するバリアーは社会生活の様々な局面に存在します。物理的、経済的側面のみならず、人の心の中にも存在します。

確かに福祉やリハビリテーションへの関心が高まり、行政施策や運動、そして関係者の努力により、生活圏も飛躍的に拡大してきました。しかし、日本では、街づくり・住宅・コミュニケーション機器において、ようやくその開発の途についたところです。したがって、一人一人の生活のスタイルや生活環境にあった、そして個人の価値観を満たす福祉用具の供給や還元のシステムづくりはこれからなのです。

なごや福祉用具プラザは、商品知識や用具の使用方法、及び情報の普及をすることの他に、ニーズを発掘して、メーカーに届け新たな用具の開発につなげる拠点として機能することが求められています。また、バリアフリーのかけ橋として「何かと出会う、新たな発見」ができるプラザになればと思っています。どうぞご家族そろっておいでください。

ここで、このような事業を行います。

なごや福祉用具プラザ 各フロアの



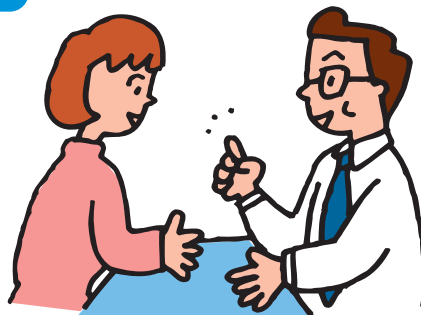
1 展示コーナー

これから福祉用具を使うのだが、どの福祉用具が良いのかお迷いの方、最近体が不自由になって何か便利な物はないかお探しの方、ぜひ展示コーナーにお立ちより下さい。



展示コーナーでは、実際に福祉用具に触れて試すことが出来、多くの福祉用具の中からどの用具がその人に適しているのか、どのように使ったら良いのかを、専門相談員がアドバイスします。展示してある福祉用具は、新しい物から、ごく一般的な物まで揃っており、大きな機能の物から、小さな気配りが集積した物までいろいろです。きっとお探しの用具が見つかると思います。

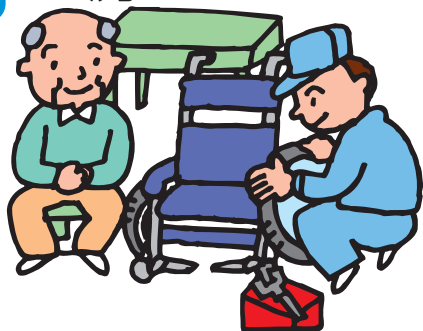
2 相談コーナー



「うちのおばあちゃん、歩きにくくなったけど、歩きやすくするために何かないかしら」「指が変形している子がいるのだけれど、良いスプーンはありますか」「ずっと寝たきりの姑を介護しているけど、疲れてしまいました。何か良い方法はありますか」など…

福祉機器の相談は、介護の問題とからんでいることが多いものです。どうしたら一番良いのか一緒に考えていきましょう。理学療法士・保健婦・ケースワーカー等の専門家が相談に応じます。実際に、福祉機器を体験したり、必要に応じて各種福祉制度も紹介します。お気軽においでください。

3 工房



せっかく福祉機器や用具を手に入れてもうまく使えなかったり、市販品では自分に合ったものが見つからずに諦めていませんか？こんな用具があればもっと生活が便利になるのにと考えていることはありませんか？工房ではあらゆる人にとって快適な生活を過ごすために、福祉用具の製作・改造相談を行います。そして、使う人の身体の状態や用途に合わせた用具の製作、改造を行います。用具の製作等については材料費程度の実費にて製作します。

また、地域でも手軽に福祉用具の改造、修理ができるように、“技術ボランティアの輪”作りを行っています。

4 モデル住宅

98 広さで、寝室・和室・トイレ・浴室・台所はもちろん、階段昇降機・ホームエレベーターもそなえたバリアフリーのモデル住宅です。たくさんの福祉用具が、実際の生活場面に応じて設置されていますので、ぜひ「見て、触れて、体験してみよう」福祉用具を知って下さい。



また、より具体的にモデル住宅で生活体験をしたい方は、「生活実習体験講座」として講座も用意しています。福祉用具は特別な物ではありません。生活のための道具としてうまく使いこなせば、より快適な生活も送れます。ぜひ試してみましょう。

5 情報提供コーナー

福祉用具に関する情報はもちろん、あらゆる役立つ情報を広く提供します。簡単なパソコン操作により、自分で知ることができます。例えば……



—福祉用具について知りたい！—

身体の状態、使用目的などに合ったさまざまな福祉用具についての種類や特徴、選び方、使用方法、入手方法などの情報を即座に知ることができます。

—どんな福祉サービスがあるか知りたい！—
利用できる福祉施設のサービス内容、助成制度などわかりやすく情報提供します。

—生活に役立つ情報を知りたい！—
在宅介護に関する情報、余暇や趣味を楽しむ情報など取り揃えています。

また、パソコン通信などを利用して、さまざまな人、医療・福祉施設とともに情報ネットワークを築くことをめざしています。

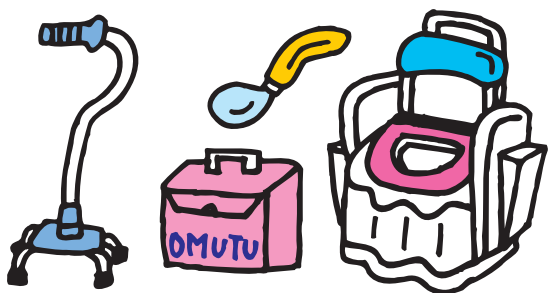
6 交流・談話コーナー



「何かと出会って、新たな発見」というプラザのキャッチフレーズのように、いろいろな出会いの場です。出会いは、福祉機器や情報だけではありません。障害者どおし、高齢者どおし、介護者どおし、いろいろな人と出会うことも含まれます。交流の輪を広げていきましょう。

なお、図書コーナーも設けられており、雑誌・本が自由に閲覧できるようになっています。さらに、カタログコーナーもあり、約100種類の各種福祉機器のカタログや市内の福祉施設のパンフレット等も閲覧できるようになっています。公衆ファックス等もあります。いろいろ利用して、出会いの場を広げていきましょう。

7 販売 リサイクルコーナー



福祉機器を試して気に入れば、早く手にいれたいですね（販売）。高額な機器を、使う予定がなく処分に困っている人から譲ってもらおうとお互いに助かりますよね（リサイクル）。また、事故等で短期間だけ機器を使いたい時や、高額な機器を自宅で試してから購入したい時もありますよね（レンタル）。

そんな皆さんの要望に、社会の不便さをいち早く知り、福祉機器を活用した経験を持つ車いすスタッフ中心の（社福）AJU自立の家がお応えします。持ち帰れる物の多くは即売し、持ち帰れない物は業者を紹介してお宅までお届けします。お気軽にどうぞ!!（専用電話〈052〉851-0059）

8 介護実習・研修エリア



なごや福祉用具プラザでは、家庭での介護の知識と技術を広く普及するために、講座を開設しています。（全て予約制で、無料です。）

●福祉用具ふれあい教室：プラザ内の見学を中心に福祉用具を「見て、触れて、体験できる」講座です。5～20名の団体に募集しています。（毎週木曜日）

●福祉用具を使って、らくらく介護：少し楽に介護するための福祉用具から、福祉サービスまで、1日で学べるワンポイント講座。30名。（10月・12月・2月予定）

●特別講座：福祉用具を使って生活実習をする講座（障害者、高齢者とその家族1家族）など準備しています。楽しく学んでみましょう。

